

精力的な活動の一部ご紹介

要望活動



▲東北港湾関連として国土交通省に対して生活基盤整備要望



▲建設業協会大子支部と事業費増強を頼山弘志代議士に要望



▲全砂防の道路整備について要望を受ける



▲建設業協会大子支部と事業費増強を頼山弘志代議士に要望

政務調査活動

日々調査に取り組む!



▲山口武平会長を団長にマレーシアのエアアジア本社を訪れ茨城空港の利用についてPR調査



▲狩野県議に同行いただき福島県立医科大学を訪れドクターヘリの導入に向けて調査



▲山間地域農業の現状について畜産農家や田舎の現場に足を運び課題解決のため調査

防災に力を

消防団員歴20年地域を守る。



▲第22回全国消防操法大会応援



▲消防団員として20年を迎え表彰を受ける

さまざまなイベントへの参加

▼第43回奥久慈湯の里マラソン大会 5kmに挑戦 29分33秒



第5回常陸YOSAKOI祭り茨城県議会議員賞を授与



2820地区ロータリークラブ野球大会



広域農道アップライン



大子レスリング25周年記念式典



水府地区森づくり事業



川井郡長事務所ふるさとチームと共に



▼肝つきに挑戦

県議としてテープカット

新たな施設や道路が完成する。



坂田の港新幹線



生瀬駐在所

初心を忘れずに感謝の心で全力投球

12月10日



▲一年の節目に皆様方に感謝の心でごあいさつ 初選挙の朝立ちの思い出の場所に夫婦で



▼二年の節目に皆様方に感謝の心でごあいさつ 変わらぬ場所にて後援会の皆様方と共に

後援会7地区支部発足

皆様方との絆で続々と支部が誕生する!!

支部発足(H20.12.31現在)

- 19. 5.27 大子町下小川支部
- 19.12.24 大子町生瀬支部
- 20. 6.22 常陸太田市水府支部
- 20. 6.28 大子町宮川大生瀬支部
- 20. 8. 5 大子町浅川支部
- 20. 9.27 大子町佐原支部
- 20.12. 7 大子町袋田支部



▲常陸太田市の第1号として後援会水府支部が誕生



▲各支部発足式において県政報告及び感謝の挨拶

議会活動

所属する全ての委員会において、毎日、県執行部と活発な議論を交わし提言をいたしております。また、各地を調査に訪れ、県政発展のため参考とし積極的に取り組んでおります。



▲茨城空港需要について礼儀、大阪、福岡で有識者に質疑支部発足(H20.12.31現在)



▲J-PARC視察調査



石井邦一 次回選挙区が決定

常陸太田市選挙区
(大子町を含む)
定数2議席

県北発展なく県の発展なし

石井邦一は、皆様方との対話を忘れず厳しい財政の中ではありますが、郷土愛をもって、地域間格差を無くすため生活基盤の整備を訴え、安全で安心な郷土づくりを目指し、若者が定住出来るよう雇用の場の確保に努め、次世代を担う子供たちの教育・子育て環境の充実に努め、福祉医療の環境整備を図り、全力で県北振興を促進いたします。

石井くにかず後援会事務所

〒319-3361 茨城県久慈郡大子町頃藤 5016
TEL 0295-79-3888 FAX 0295-79-3887
ホームページ <http://www.kunikazu.net> Eメール info@kunikazu.net
*ご意見・ご要望、多数お寄せ下さいますようお願いいたします。
*随時、後援会会員を募集しておりますので、ご加入お待ちしております。(後援会内部 封鎖資料)

愛する郷土を想い登壇

◆県北と県政の絆を訴える!!

茨城県議会議員として昨年に引き続き2度目の登壇の機会を与えていただきました、支援者の皆様方に心から感謝申し上げます。今回の質問内容も県北に活力を生み出すため、皆様方の声の代弁者として持ち時間を全て使い、知事並びに執行部に対し質問を行ない、雇用の場の創出や観光でのおもてなしの心育成、県北地域を対象区域とするドクターヘリ運行、自然環境を活かしたスポーツ振興など、前向きな答弁を引き出すことが出来ました。

これからも皆様方との絆を大切に對話を欠かさず県北発展のため全力で取組んで参ります。



2度目の一般質問(県北振興の新たな切り口と人材育成をテーマとして)

質問・答弁は一部抜粋しております

①県北山間地域における雇用創出のための企業誘致の推進について (知事に対し)

質問 県北山間地域の活性化を図っていくためには雇用の場の確保が絶対条件であるが、宮の郷工業団地をはじめとした県北山間地域への企業誘致をどの様に推進するのかご所見をお伺いいたします。

答弁 多くの雇用機会を創出する優良企業の立地は県北山間地域の活性化にとって大変重要であり、新興国での需要増が続く建設機械の関連メーカーや、この地域の豊かな山林を活用する木材関連企業などについて、県と市町村が連携して誘致を進めているところでございます。このため、まず木島橋の整備を今年度内に完成させると共に、川山工業団地への光ファイバー設置費に対する支援策などを進めて参ります。

②自然環境を活かしたスポーツによる県北振興について (企画部長に対し)

質問 県北山間地域の豊かな自然環境という、貴重な地域資源を活かし「カヌーや新しいスポーツで山道を走るトレイルランニングなど」まさに地域限定の競技大会を継続して開催し、新しいアウトドアスポーツの交流拠点として定着させ、スポーツを通じた交流人口の増加により、いかに県北振興を図るかお伺いいたします。

答弁 県北地域の自然を活かしたスポーツイベントとしては、マラソンや釣り大会などが開催されており、最近若者の間で人気のトレイルランニングの開催も検討されているところでございます。県北地域は、自然を舞台とした様々なアウトドアスポーツの拠点となることが期待できる地域と考えます。県としては関係機関と連携し、議員ご提案の趣旨も踏まえスポーツによる活性化のあり方を検討し県北振興に取り組んでまいります。

③おもてなしの心の醸成と県民参加による観光振興について (商工労働部長に対し)

質問 観光客の増加を一過性のものとせず、県の目標である平成22年度の観光入込客数五千万人を実現するためにも、茨城のおもてなしの心をどのように醸成し実践するのか、さらに、県がリーダーシップを発揮して、おもてなしの心を全県的な県民運動と発展させるべきと考えますがご所見をお伺いいたします。

答弁 観光振興を図る上で、おもてなしの心を持って接客していくことは重要なことであると考えております。全県的な県民運動へと発展させることについて、第一段階として、人材の育成が必要であると考え、観光ボランティアガイドやその団体の育成を強化していくことが必要と考えます。このような中、本年ボランティアによる県大会を開催することとし、地域住民参加によるおもてなしの心が醸成されることを期待しているところでございます。

④フリーターなどによる県北山間地域の農業振興について (農林水産部長に対し)

質問 食料の自給率の向上や供給力の強化を図っていく必要に迫られております。しかし、地方の農業の担い手が高齢化し農業が立ち行かなくなってしまうことが懸念されます。そこで、フリーターなどを農業の担い手として育成し県北山間地域の農業振興につなげていく試みについてご所見をお伺いいたします。

答弁 フリーターなどを確保していくことは、県北山間地域での農業振興を図る上で大変重要であります。議員ご指摘の通り、資金や技術、農地や住宅の手当など一貫したサポートが必要であります。今後とも、フリーターなど若い世代の方々に就業情報を充実させるなど関係機関と協力して農業振興に尽力して参ります。

⑤自然環境を次世代に残すための取り組みについて

ア、森林湖沼環境税を活用した取り組みの現状と県民への周知 (農林水産部長・生活環境部長に対し)

質問 森林湖沼環境税は本県の豊かな自然環境を次世代に残すために、本年4月から導入されました。導入にあたっては、幅広い県民の方々に5年間で総額約80億円もの新たなご負担をいただくわけですから、税を活用した取り組みや進捗状況などを含め、今後どのように県民に周知していくのかお伺いいたします。

答弁 森林の保全整備につきましては、事業を実施する10市町において間伐推進委員会を中心として、森林所有者への間伐の実施と、森林の保全協定の締結について働きかけを行っております。平地林・里山林の整備につきましては40市町村で取組むことになっており、事業実施に向け整備計画を策定中でございます。また、森づくりなどに取組むボランティア団体等への支援事業も実施し、さらに、いばらき森林づくり感謝祭を開催し、県民全体の機運の醸成を図って参ります。事業の取り組みにつきましては、逐次お知らせして参りたいと考えております。

答弁 霞ヶ浦をはじめとする湖沼河川の水質保全につきましては、高度処理浄化槽などの補助制度の拡充、下水道や集落排水施設への接続補助に対する支援などを進めているところでございます。森林湖沼環境税を活用した事業の実績や効果につきましては、県広報誌や新聞広告などにより年度途中においても広報に努めて参ります。

イ、間伐材の利活用の促進 (農林水産部長に対し)

質問 間伐事業が拡大されることになり、新たな相当量の間伐材の発生が見込まれ有効活用がされることが重要であります。そこで、間伐材のさらなる利活用の促進を図るため、公共事業などの公共部門での活用をどの様に拡大していくのか、併せて、間伐材の需給情報を管理する総合窓口の設置についてはどうお考えかお伺いいたします。

答弁 間伐材の有効に利活用することは、大変重要であると考えております。そのため、間伐材の利用拡大に努めておりますが、さらに、公共施設の木造化・木質化を図りますとともに、間伐材の利用に努めてまいります。また、新たに相当量の間伐材の発生が見込まれますことから、有効活用を図るために需給情報を一括管理する機関が必要であると考えております。このため、原木市場において茨城県森林組合連合会が総合的な情報管理システムを構築できるよう、支援してまいります。

⑥県北山間地域の救急救命医療体制の充実に向けたドクターヘリの導入について (保健福祉部長に対し)

質問 県においてもドクターヘリの導入を検討するための委員会が本年度設置され、先週初めとなる第一回の委員会が開催されたようであり、ぜひとも、救急医療の地域間格差是正のため、県北山間地域を運行対象区域とする、本県単独のドクターヘリの導入を実現していただきたいと考えますが、ご所見をお伺いいたします。

答弁 県北山間地域は、議員ご指摘のように、この地域の三次救急医療体制の充実のために、ドクターヘリを導入することは効果が大きいと考えられます。今後、委員会において、本格的な検討を始めたところでございますので、このような視点を十分に踏まえながら、今後さらに議論を進め、ドクターヘリ導入について、県としての考え方を示してまいりたいと考えております。

⑦活力ある地域づくりのための道路整備について (土木部長に対し)

質問 将来を考え長期的な視点でみれば、大子から、県北地域を横断して常磐自動車道に接続する「北関東北部横断道路」の実現が是非とも必要と考えているところであります。しかし、現在のように、財政が大変厳しい中においては、既存の幹線道路の整備に全力を上げて取り組んで頂くこと、これをまずは優先していかねばならないと思っております。そこで今回は、主要地方道路であります、常陸那珂港山方線、常陸太田那須烏山線、さらに、大子美和線の整備見直しについてお伺いいたします。

答弁 まず、議員お尋ねの木島橋の整備につきまして、今年度内に共用する見直しとなり、引き続き宮の郷工業団地へのアクセス向上のため、北側への延伸区間約700mを早急に整備を進めてまいります。次に、宮の郷工業団地以北の常陸太田那須烏山線の常陸太田市下宮内地区の約800mを今年度から工事に着手し、早期完成に努めてまいります。さらに、常陸太田那須烏山線と常陸那珂港山方線とが交差する区間につきましても、現在の事業区間に引き続き整備に着手したいと考えております。次に、大子美和線の整備見直しにつきまして、今年度は、現道を拡幅するための法面工事を実施するとともに、広域農道の交差点を改良するために必要な用地所得を進めて参ります。残る区間につきましては、コスト削減を図りつつ、危険箇所から優先して整備を進め、早期の効果発現に努めてまいります。

⑧学校教育におけるたくましい人材育成について (教育長に対し)

質問 学校は、子どもたちに単に学問を教える場ではなく、「知・徳・体」のバランスの取れた子どもたちを育てていく場であり、そこで、学校教育において、強く、たくましい子どもたちをどのように育成していくのか、併せて、専門的人材の適切な配置をどのように進めていくのかお伺いいたします。

答弁 子どもたちに「知・徳・体」をバランスよく身につけさせることが大切であり、たくましい子どもたちを育成していくことが必要であると考えております。議員ご指摘の、たくましい子どもたちを育成していくために、子どもたちが感動するような教材を通して、より高い目標に向かい努力することの大切さを学ばせてまいります。また、中学校の部活動は、精神的にも肉体的にも奥のたくましさ養う、最もよい機会であると考えております。今後とも、「いばらきの未来を拓くたくましい人づくり」のために、人材バンクの拡充を図り、専門的な知識や指導力のある地域の優秀な人材を指導者として派遣していくために、情報の提供に努めるとともに、学校教育活動全般を通じて、子どもたちの育成に努めてまいります。

▼修学記念撮影



▼支援を頂く300名の傍聴の皆様方と



▼同郷野郎県議とお迎え

